

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	逗子市こども発達支援センター　くろーばー			
○保護者評価実施期間	令和7年年1月14日		～	令和7年年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49名	(回答者数)	30名
○従業者評価実施期間	令和7年1月14日		～	令和7年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	建物が清潔に保たれ、各ブレイルームが子どもたちにとって過ごしやすい空間になっている。	当日の人数や活動内容によって有効的にブレイルームを活用し、衛生面を含め、過ごしやすい環境づくりを心がけている。	環境設定等の意図を改めて保護者と共有し、家庭内でも活かせる工夫を伝えていく。
2	日々の活動について、個別支援計画に沿って内容を検討し取り組んでいることが保護者に理解されている。	個別支援計画に記載されている目標について、日々の活動と照らし合わせながら保護者と共有している。	具体的な目標の確認と合わせて、5領域の視点からも内容の確認を行う。
3	面談等を通じて生活に必要なことについて助言ができ、共有できる環境が整っている。	活動終了後に保護者に迎えに来てもらい、その際に活動の振り返りを合わせて行い、面談等の機会だけではなく話ができる機会を設けている。	面談後や助言後の家庭の様子についても聞き取りを行い、その後の様子を踏まえた今後のことについても話をする機会を設けていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	きょうだい児への相談を実施していることの周知が足りなかった。	希望者には、相談や交流等の支援があることについて、周知が足りなかった。	きょうだい児に向けて、具体的にどのような支援ができるのかを検討していく。
2	法人HP等の情報発信のツールについての周知が足りなかった。	年度初めや契約時の重要事項説明書の確認時と、事業所評価公表についてのお知らせを行う際のみが主な法人HPについてお伝えする機会となっていた。	法人HPと合わせて、こども発達支援センター全体でインスタグラムを開設したので、それについても周知を図っていく。
3	防災や救急等の各種マニュアルを全保護者と共有できていないこと。	日程の情報や、訓練の実施前後の連絡報告は周知しているが対象クラスのための共有となっていた。	年間予定や月間予定に表記し、全体に情報を周知する。